

第1回上田市スポーツ推進審議会 会議概要

1	審議会名	第1回上田市スポーツ推進審議会
2	日 時	平成26年11月4日 午後7時から午後8時30分まで
3	会 場	教育委員会やぐら下庁舎2階会議室
4	出席者	小林会長、犬飼副会長、石川委員、西澤委員、野口委員、廣川委員、松本委員 宮本委員、依田委員
5	市側出席者	教育長、教育次長、スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所長 真田地域教育事務所長、武石地域教育事務所長、スポーツ施設係長 スポーツ推進係長、スポーツ推進係
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	26年11月10日

協 議 事 項 等

- 1 開会(スポーツ推進課長)
- 2 人事通知書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員・事務局自己紹介
- 5 会長及び副会長の選任
- 6 議事
 - (1) 上田市のスポーツ振興の現状等
 - (2) 上田市スポーツ振興計画の進捗状況
 - (3) 上田市のスポーツ施設について

(会 長) 上田市のスポーツ振興の現状等を事務局のから説明お願いしたい。

(事務局) 上田市のスポーツ振興の現状の説明
スポーツ振興計画の概要説明

(会 長) 上田市のスポーツ振興計画の進捗状況について説明をお願いしたい。

(事務局) 上田市スポーツ振興計画進捗状況の説明
実施状況の説明

(会 長) 上田市のスポーツ施設の説明をお願いしたい。

(事務局) 上田市のスポーツ施設についての説明
施設の設置・廃止及び利用状況の説明

(会 長) 上田市のスポーツ振興の現状・計画・進捗状況等施設について説明をいただいた。第一回目ですので皆様の2年間の上田市のスポーツ振興への忌憚りの無いご意見を頂きたい。

(委 員) 上田に在駐していない為年間通じて行事にふれる機会があまりない状況ですが、合併後も従来の各地域の行事を継続し行っているため、かなり行事数が多くなったと感じている。それぞれ別に行事を行うのではなく各地域で連携し調整を図れば良いと思う。
競技スポーツ振興を大事にし、それに憧れをもってもらうのもいいですが、街中に運動をしたりスポーツをしているということが目に見えたら良いと思う。体育館や屋外施設等で大会等行っていると思うが、住宅や街の中の空き地・スーパーの駐車場等でイベント・歩行者天国で軽いスポーツを行うなどし、その活動を通じて各イベント情報やクラブ情報を広報していくのはいかがか。生涯スポーツとしてスポーツに意識の薄い人・年配の方々も誘いこめるような雰囲気していければと感じている。
スポーツ振興については市内に大学が3校あるので、大学生の若いエネルギーを街の中で生かし活性化していける様になると良いと思う。(古戦場ハーフマラソンに長野大学の学生ボランティアを活用し効果が出たことから)大学との連携を図れればと思っている。文部科学省の指導等により大学も地域連携ステーションのような組織を立ち上げているところが多い。学生を活用し、また学生が地域で勉強できる機会にもなる(双方向型)ことから若者が地域に出てこられる場としても設けていただきたい。

(委 員) 実際に事業を見させていただいた中で魅力ある事業が多くあるように感じる。例として、小

中学生が普段川で遊ぶことはなかなかできないが、爆水RUNといった企画は、親子が川で走ったり・遊んだりできるという点で魅力ある事業だと感じる。他の市町村の方にも見ていただいたが良い評価を受けていた。今までに無い発想が高い評価へとつながっていると思う。

多くの市民をいかに巻き込んでいくかという点が課題に挙げられているが、精力的に活動しているスポーツ推進委員・体育協会・総合型スポーツクラブ等へ企画立案していただき、実現性の高い事業を行政で運営していくという手法も良いのではないかと。

上田スポーツプレスについて部活動の子どもたちが顔写真付きで掲載されるなど、地域の人々が喜ぶような記事の取りあげ方が非常に良いと思う。今後も子どもたちも含めて関心のある話題を取り上げていただきたい。

競技スポーツの充実については一環指導体制の整備と充実ということで幼稚園・保育園から小・中学校・高校と考えていただきたい。

先ほど意見に出た行事数の関係について、一覧表にしてみると数多くの行事あるような気がする。精選していくことで経費削減にもつながると思う。

施設のプール維持・管理(上田城跡公園内のプール廃止)について、他市の数値も示していただき、経費の面からも仕方ないと思う。学校のプール等を有効利用していくなど改善策は考えてはどうか。

(委員) 学校現場の立場として、心のプロジェクト夢の教室ではトップアスリートを呼んで一流に触れ・見る・話を聞くという場が小中学生にとって大事な機会だと思う。

体育の学習は生涯スポーツに向けて自分にとってのスポーツの意義や価値を掴んで捉えてもらい、運動やスポーツに係る関わり方は個々に異なるということを前提とし行っている。生涯にわたり運動・スポーツに親しむシステムを育てたいと願っています。

外からの刺激も大事だが、子どもたちがより良い整えられた環境の中で身近に運動に関わり親しむために、素晴らしい環境を整えていく事も必要ではないか。サントミュージゼも完成したが、スポーツも文化なので上田市のメインとなる体育館、野球場、陸上競技場や併設のサッカー場等も検討していただきたい。

(委員) 長野大学の学生ボランティアについては、従来、福祉の分野では多くボランティア行ってきたが、今回スポーツの分野で古戦場ハーフマラソンのボランティア活動に協力でき安心している。大学生の持っている可能性などを地域で引き出していただければ役に立つと思う。

学生達の中には授業としての体育は嫌いだったけどスポーツを楽しもうという気運になりつつあります。何かをするにもスポーツがキーワードになりかけてきている状況の中、サッカーで日の丸背負う選手や、1年生でカーリングやカナダの日本代表を目指す選手が入ってきたので、そういった夢を持っている人たちをうまく育てていければと思う。

学生がスポーツをしたくてもできない状況の中、施設整備・改善を図りたいと6年前から考えながら活動している。

建物の中で自分たちが頑張るだけでは、地域から何をやっているか見えない状況となってしまう。何か外へ発信していくことが大学に課せられた使命だと思う。そのような中、ただ勝つということだけでなく地域の子供たちとバレーボールやバスケットボールをやる・交流することが少しずつ浸透してきたと思う。

2020年の東京オリンピックが決定した事を受けてJOCから1,000以上の大学に連携意向調査があった。500以上の大学が連携の意向を示し、長野大学も連携締結調印式に出席してきた。具体的に何ができるか分からないが、学校自体が長野オリンピックの遺産を持っているので、東京オリンピックに何かしらのお手伝い出来る気がしている。教職員の価値観でスポーツに対して何がお手伝いできるのか、若い力やエネルギーをどう生かしていくのかこれから検討していきたい。多くの大学が参加しますので勢いを付けてスポーツの活性化を図っていきたい。

外にうまくアピール出来ていない状況でもったいない活動があるような気がする。上田市で出来る事がまだ沢山あると感じている。これから少しずつ前進していけるようお手伝いをしていきたい。

(委員) いろんなスポーツが盛んな中で体育施設を確保するのに困難な状況である。東御市に素晴らしい体育館があるが、大きい大会を開催するために競うような形で予約確保をしている。上田市にも一つ目玉施設となり得る大きな体育施設を長い目で見て造って行くようにならないと

中々発展していかないと思う。

子ども達を見ているとスポーツにあまり親しんでいないような気がしている。保育園期の小さい頃から運動能力を引き出してもらえるような働きかけがあれば、小・中学校でよりスポーツのできる子どもが増えるのではないか。武石地域も人口が少なくスポーツをやる子が少なくなり、野球で言えば丸子・長瀬と一緒に少年野球をチームを組んでやっている状況。男子がサッカーに流れる傾向が強く、他の運動に子どもが入ってこないといった悩みもある。昨年、元日本代表選手の竹下佳江さん招いてバレーボール教室を開催した。信濃毎日新聞でPRしたにも関わらず他市町村からの出席はなかったが、間近でバレーをしている竹下さんを見る事が出来て大変良い企画となった。子ども達もトップアスリートの間近で見ることができ良かった。

一番は体育施設の充実をお願いしたい。

(委員) 新しく完成したサントミュージアムへ行ってきたが非常に立派な施設であった。この次は体育施設をと期待している。

今まで菅平高原で約20年ほど5月下旬に長野県下及び近隣の中学校の大会を開催しており、来年からは各市町村教育委員会にも後援についてもらいより大きな大会にしたいと考えている。

その大会のアンケートから、菅平に何故人が集まるかという芝生の上でサッカーが出来るということが一番大きな要因だと感じられる。菅平以外の小・中学校の関与は難しいかもしれないが、グラウンドの芝化については是非検討していただきたい。上田市だけでなく近隣の東御市等も巻き込んでスポーツ特区のような形でオリンピックキャンプ地の招致等を取り組んでいただきたい。

菅平で来年1月にスペシャルオリンピック冬季競技長野大会を行うが、大学生ボランティアにも連携して運営に携わってもらえたらありがたい。

(委員) スポーツナビ事業で体育協会・スポーツ推進課・総合型スポーツクラブ・スポーツ推進委員で連携をして「真夏の夜のオリンピック」を城跡公園野球場でみんながスポーツを楽しめる企画として実施した。(二年やって終わってしまったが) 広報も難しく人数も少なかったが中央地域に人をたくさん集めることも必要であり、様々な団体が一緒になって一つの事業をやるという貴重な場でもあったので、継続していければ良かったと思う。各団体の歴史等はあると思うが、皆が同じ目線で壁を取り払い、盛り上げようとする事業だったので継続してほしかった。

施設の老朽化の関係ですが、真田体育館でも雨漏れ等はあるが早急な対応をしていただいている。建て替えを行う際には、サントミュージアムのように人が大勢集まるように、総合運動場としてグラウンド・室内プール・テニスコート等の様々な施設を併設できるような大きい考えで計画を立てていただきたい。人がとんどん集まることで上田市にもお金が入るのではと思う。

地元のスポーツクラブで幼児の運動教室を4年程行っているが、運動神経は幼児期からが一番大事なと思う。そこでしっかりと運動遊びをして体を鍛えることで、競技スポーツ充実プランの中にあるような、その競技にいかせる子どもを作りあげることが出来るのと思う。幼児期から競技スポーツとして上位にすすめるようなプランを考えていただくと良いと思う。良い選手をつくるにはやはり幼児期からだと自分自身もこの4年間の指導で正直感じている部分である。

いつもの課題として広報活動が難しいので一緒にしていただきたい。

(委員) 一部のスポーツ推進委員も参加し、小さい子を対象としたグー・チョコキ・パーという教室を開催しているが参加者が非常に少ない状況。子どももそこへ行くと体を動かす事が好きになり良い教室なのだがうまく周知していないように感じる。

スポーツ推進委員としては総合型地域スポーツクラブで依頼を受け、丸子北中へコスモス大学の一環としてウォーキングの授業を毎月行っている。一般の人から小さい子どもまで参加出来ることで、多くの世代と触れあい、年齢差がある中でも互いに勉強となる。コスモス大学にはいろんな学科がありとても良いことだと思う。他の学校でも実施しても良いと思う。

スポーツ推進委員としては県大会・関東大会・全国大会が開催され、各々仕事もあり忙しい中だが、研修会に参加している。今後も継続していきたい。

(会長) 実施プランも計画から実施という時期の中で、皆様のご意見等頭に入れながら我々体育協会とともにここ施設の問題は特に課題等を詰めている。

皆様方のご意見等お聞きしたので、今後いかにどういう方向で、どういう方法で実施するかということになる。貴重なご意見を市でまとめていただき、より良い方向で実施していくという形をとりたいと思う。この会議も年に約2回と少ないが、この中の委員の皆様からも諸事業等へ積極的に参加いただくということも必要ではないか。

全体を通じて、または、その他・お知らせがありましたらお願いしたい。

- (委員) 全国レクリエーション大会が来年69回目で初めて長野県で開催される。前年度の福島では20,000人・その前の福岡では60,000人が参加したという大きな大会である。長野県は身の丈に合った運営と事務局長が言っているため、どのような大会となるか不安な状況。内容は総合型スポーツクラブの活動紹介、幼児の運動能力・体力を向上させるための研究発表会、諸々の健康に対する遊びやノウハウ等のセッションが50近く2日間の中で選択し参加できる大きなイベント。スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ等の様々な団体の発表の機会とし、あるいは他県の情報をキャッチする機会とすることができる。

上田ではふわっとテニス協会による大会開催と、菅平高原でのマレットゴルフ大会の開催について申し出があった。宿泊やお土産など、あるいは大河ドラマ「真田丸」PR等でも有益であると考え。

長野県で受けているので出来るだけ長野市以外の地域にも参加者や観光客が行きお金が落ちるような企画としたい。

- (委員) 東信管内地区スポーツ指導者連携会議を11/7(金)に初めて開催する。実施プランの中にも書いてあるが、学校は学校で部活動のことを一生懸命課題に取り組む、行政は行政で取り組む、スポーツ推進委員の方などもそれぞれ取り組んでいただいている中、皆を一堂に会し、皆で考えることで何か連携して出来るのではないかとということで会議を開催する。現在、約100名の申込みがあり上田市からも約30名に申込みいただいている。グループに分かれて特に東信というわけではなく上田市の子ども達のためにこれからどうしたら良いかということをお話していただく。長野県教育委員会が子ども達の試算をしたところ、20年後に現在より子供達の数40%減るという状況で、単純に考えると学校の先生方もおおよそ同じくらい減らざるを得ないということになる。イコール指導者も減るということを考えると、今の形では難しいという状況の中でこれからもう少し先を見据えて子ども達のために今からどのようなスポーツ環境を整えて行ったら良いかということをお話していただくという会でもある。いかに学校・子どもを応援しているかという立場でご意見をいただきたいと考えている。

- (事務局) 質問等いただいた中ですぐに回答できる部分についてお答えします。

- (事務局) 爆水RUNの関係は、企画委員を中心にボランティアと係わりながら丸子地域の担当者が中心となり約30名で基本的な企画運営等を行っている。今年は1280名程の参加者があり、事務局としては1200名前後を安全に運営出来る参加者と考えている。インターネットの申し込みを約一割に振り分けたが一週間程で定員となった。参加者の範囲は北は山形から西は山口までの申込みがあり、長野県内の参加者が三分の一程度を占め、それ以外が県外という割合。来年は節目の20回となりより安全に盛大に開催を計画している。

- (事務局) 行事がたくさんあり、重複している部分があるのではないかと話について、合併した後、各地区で分かれてやっている所があります。例えばスポーツ推進委員がそれぞれ地区にいるなどといった関係があり区内での重複はないが、全市を見ると若干重複している部分もあるかとも思う。

上田城跡公園の施設改修について、駐車場は青少年ホーム・50メートルプール・ちびっこプールの範囲で行うということで聞いている。

- (会長) 議事のほうは終わりとしたい。

- (事務局) 年度内2月か3月頃までにもう一回開催を検討している。

次回は施設の関係ではもう少し具体的な形で、計画とまではいかないが、構想としてスポーツ施設を整備していくかと部分をお示したいと考えるので、様々な立場の中でご意見をいただきたい。